

令和8年度 看護学部 学校推薦型選抜試験問題
総合問題Ⅰ 出題意図及び解答例

高等学校で習得した基礎学力、文章理解力、語彙力、設問の趣旨にそって表現する力や論理的思考力を問う。

問 1

つらいこと、嫌なことはすぐに忘れ、記憶にとどめないことが脳をストレスから守り老化させないためにも重要で、人生を生き抜いていく適応現象。(67字)

問 2

- ①健康
- ②病気
- ③食べなければ

問 3

高齢期の健康(高齢期の生活機能)を維持するためには、食生活において肉類・牛乳・油脂類をとること

問 4

食べる楽しみは、人間にとってすごく大事なものであり、無理して食べるようになることほど、悲しいことはないから。

問 5

高齢になって歯がほとんどなくなったとしても、義歯を使うことで認知症発症リスクを低くすることができるかもしれない。

問 6

生きがいがあると、気持ちに張り合いが生まれ、精神的に満たされる。心が元気になれば、行動も変わり、日々の生活にも意欲的になり、積極的に人と関わったり、社会的な活動に参加したりもするようになる。さらには、いつまでも健康でいられるようにという意識も高まる。その結果、心も体も健康になり、長生きできるというストーリーが成り立つと考えているから。(168字)